

# ケロちゃんコロちゃん 応援ニュース No. 69

平成26年12月19日発行



発行：一般社団法人 日本民営鉄道協会 運輸調整部 地方交通室 地方鉄道課  
〒100-8171 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 16 階 Tel. 03-5202-1406(地方交通室)

## 電車一日乗車券を手に、路面電車王国・広島市を探検したケロ！

みなさんの健康と幸せを守るコーワのケロちゃん、コロちゃん(※)だよ。

“もみじ饅頭”<sup>まんじゅう</sup>で有名な広島市を訪ねたケロ。市内には広島電鉄の路面電車が走る「市内線」が8路線もあるケロ。観光の足としてとっても便利！

市内線は、160円(小児80円)の均一運賃制。だから、広島駅から5.4kmも離れている広電西広島駅まで乗車しても、お隣の電停まで一区间だけ利用しても同じ運賃。乗れば乗るほどお得ケロ～。

さらに600円の「電車一日乗車券」を購入すれば、広電の電車全線を自由に乗り降りできるケロ！

路面電車と徒歩の旅は、美容と健康、メタボ予防に効果満点。みなさんにもおススメしちゃうよ！

電車一日乗車券は、  
大人600円、  
小児300円。



これ一枚で、  
市内線も、鉄道線(宮島線)も  
乗れるコロ。

電車一日乗車券をゲットして、広島の旅を満喫しちゃったよ！

※「ケロちゃん」「コロちゃん」は、興和㈱の登録商標です。

## 広島電鉄(広電)の路線図～市内線と宮島線(鉄道線)～



広島電鉄には、路面電車が走る「市内線」と、「宮島線」という鉄道線があるケロ。

市内線では、道路の上を路面電車と自動車と一緒に走っているケロ。

宮島線は、広電西広島から広電宮島口までの路線で、ここは電車だけが走る「普通鉄道」になっているコロ。

路面電車は、広電西広島を経由して広電宮島口まで直通運転を行っているコロ。

今回訪ねたのは、  
横川駅と、広電本社  
前の千田(せんだ)  
車庫。詳しい  
レポートは次号で  
報告するケロ。

広島電鉄のホームページより転載

広島市の街は“路面電車の博物館”、新旧の電車を紹介しちゃうよ！

(ケロちゃん) 広島電鉄は、平成24年11月23日に電車開業100周年を迎えたケロ。

(コロちゃん) ご先祖にあたる広島電気軌道(株)という会社が、100年前の1912(大正元)年に電車市内線を開業したコロ。

(ケロちゃん) 現在の広島電鉄(株)が創立されたのは、昭和17年のこと。3年後の昭和20年には、原爆が投下されて大変な被害を被ったケロ。

(コロちゃん) 大惨事の中にもかかわらず、何と3日後には一部区間で市内電車が運行再開されたコロ！その姿は、広島市民の心の支えになったコロ！

(ケロちゃん) 被爆した路面電車のうち、2両は、今でも頑張ってお客さんを運んでいるケロ。

(コロちゃん) 昭和17年に製造された650形車両で、被爆電車として語り継がれているコロ。

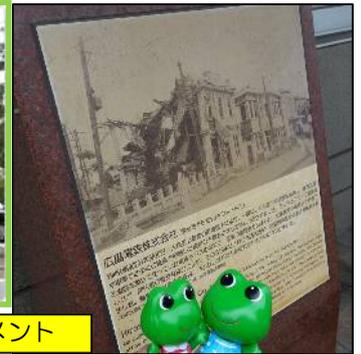
(ケロちゃん) 廃止された各地の市電も、広島電鉄で頑張っているケロ。応援のエールを送っちゃうよ！

(コロちゃん) レトロ車両だけでなく、最新鋭の路面電車(超低床車両)も大活躍しているコロ！

(ケロちゃん) 広島市は、街全体が、まるで“路面電車の博物館”みたいケロ～(=^▽^)σ。



被爆電車と広電本社前のモニュメント



上の電車は、開業時に走っていた100形電車を再現したレトロ車両だよ。

広電のホームページで詳しく説明しているよ。  
HIRODEN AVENUE  
を見てほしいコロ。



超低床車両のなかまたち

国産車



1000形グリーンムーバーLEX

国産車



5100形グリーンムーバーマックス

ドイツ製



5000形グリーンムーバー

国産車



1000形1001号PICCOLO

～ケロコロインフォメーション：広電の電車～

広電の車両は、全長14～19mの単車、3～5両がドッキングした全長26～30mの連接車に大別されるケロ。

単車は市内線でワンマン運行していて、宮島線と市内線の直通運行には、連接車が使われているんだって。

超低床車両は、停留場から段差なしで乗降できるグリーンムーバーを平成11年にドイツから輸入したのが最初。次いで17年には国産のグリーンムーバーマックスを導入。さらに、25年には、コンパクトな車体でワンマン運転も可能になった1000形を2両投入したケロ。1001号はピッコロ、1002号はピッコラの愛称で親しまれているケロ。26年から運行開始した1003号(グリーンムーバーLEX)は、“水と緑の街”広島

の景観イメージを車両デザインに反映しているケロ。



\*「応援ニュース」では、ケロちゃんコロちゃんの応援活動の様子をお知らせします。

\*バックナンバーは一般社団法人日本民営鉄道協会のホームページ「地方民鉄応援プロジェクト」でご覧いただけます。